



株式会社 アース建設

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023 年10月1日～ 2024 年9月30日)



(国)429号 神子畑河川引堤工事(朝来市佐囊)

発行日: 2024年11月5日



認証番号 0007950

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	1
環境経営方針	1
組織の概要	2
事業の紹介	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価	5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	8



朝来市有林オフセット・クレジット(50t)購入し、朝来市の森づくりに協力しています。(対象山林)

□ごあいさつ

当社は1984年3月の設立以来、「最良の品質管理と技術を駆使し、アース(EARTH)の社名の如く、地球、大地、自然に優しく、顧客、地域社会に信頼され、貢献できる会社づくりを目指す」という理念に基づき事業を展開しています。

特に、砂防や治山施設、道路改良、災害復旧等の公共工事において実績があり、県・市との災害時の応急対応協定を締結し、除雪等の地域貢献にも積極的に参加しています。

また、土木建築工事の設計施工及び宅地建物取引業により、土地の造成から建物の基礎工事、新築・リフォーム工事まで、お客様お一人お一人のニーズにあった提案をさせていただき、ご要望にお応えしております。

さらに、エコアクション21への取組みを通して、SDGs(国連が掲げた持続可能な開発目標)に取り組み、朝来市有林オフセット・クレジットの購入により、森林環境の保全にも貢献しています。

地域のインフラ整備や災害時の応急対応などの役割が期待される中、建設業界では従業員の高齢化が進行しています。今後は、IT技術を活用したICT施工のさらなる導入により、生産性の向上、環境負荷の低減を図り、あわせて働き方改革により、若者に魅力ある職場づくりを進めてまいります。

環境経営方針

<環境経営理念>

アースの社名の如く、地球、大地、自然を大切にし、事業活動を通して地球温暖化問題や地域の環境問題に自主的・積極的に取り組みます。

社員一丸となって環境負荷の低減に取り組み、地域、社会に貢献できる事業を展開していきます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規及び地元との約束を遵守し、環境保全に取り組みます。
2. 建設事業に伴う環境負荷の低減に努めます。
 - (1) 電力及び燃料(自動車及び重機)の使用による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物の削減と分別(一般廃棄物・産業廃棄物)
 - (3) 適正な利用による水使用量(資材倉庫分)の削減
3. 継続的な改善に取り組み、建設事業を通じて環境改善に努めます。
 - (1) [建築部門]省エネルギー・長寿命住宅(長期優良住宅)の提案
 - (2) [土木部門]ICT施工の推進・県産材の利用促進
4. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。

制定日：2011年6月1日

改定日：2020年4月1日

株式会社アース建設
代表取締役 松本 政信

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 アース建設
代表取締役 松本 政信
- (2) 所在地
本 社 兵庫県朝来市和田山町加都87-3
資材倉庫 兵庫県朝来市和田山町枚田1157
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 専務 松本 央 TEL:079-674-1289
担当者 総務部 田中 達人 TEL:079-674-1289
- (4) 事業内容
建築工事業・土木工事業（兵庫県知事(特一3)第600862号）
宅地建物取引業（兵庫県知事(5)第600047号）
- (5) 事業の規模
売上高 42,106 万円

	本 社	資材倉庫	合 計
従業員 名	15 名	0 名	15 名
延べ床面積 m ²	580 m ²	490 m ²	1,070 m ²

- (6) 事業年度 10 月 1 日 ～ 9 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名: 株式会社 アース建設
- 対象事業所: 本 社
資材倉庫
- 対象外: なし
- 活動: 建築工事業・土木工事業・宅地建物取引業

□事業の紹介



上)ICT施工の様子(森林基幹道開設工事)
左)河川引堤工事(表紙掲載)の様子

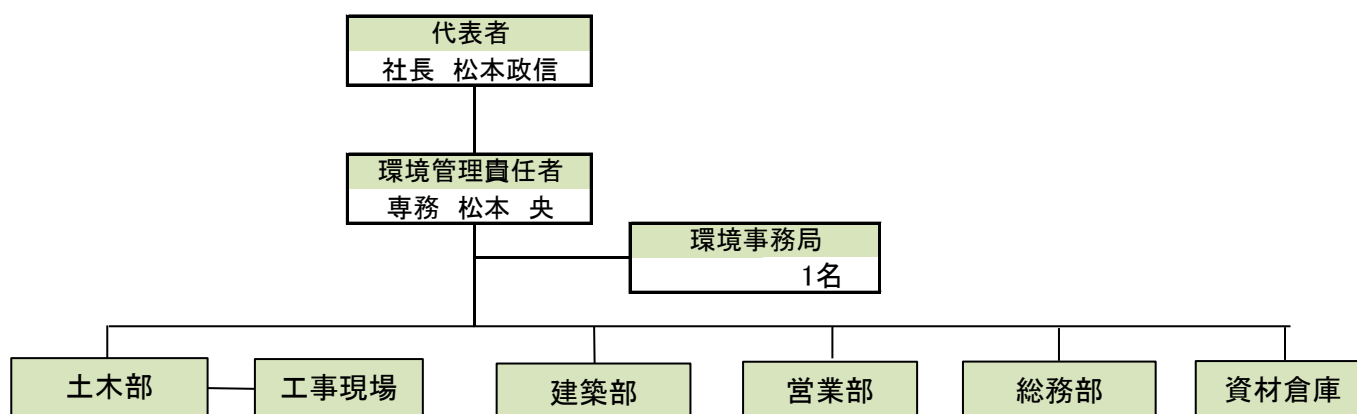


株式会社アース建設本社



谷止工(復旧治山事業)の様子

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者 (専務)	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	146,209	136,152	225,253
電力使用量	kWh	27,660	21,943	20,420
ガソリン使用量	L	10,076	8,728	11,379
軽油使用量	L	44,115	42,170	74,509
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	t	0.110	0.210	0.180
産業廃棄物排出量	t	633	361	685
水使用量(倉庫分)	m ³	5	3	18

※二酸化炭素排出係数 0.318 kg-CO₂/kWh 関西電力㈱の調整後の係数(2019)
※二酸化炭素排出量は資材倉庫の電力を含む
※負荷の実績は工事現場を含む
※事務所の水道は地下水を利用

□環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		基準値	2023年度		評 価	2024年度	2025年度
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力(事務所分)による二酸化炭素削減	kWh	21,943	21,504	20,420		21,285	21,065
	kg-CO ₂	6,978	6,838	6,494	○	6,769	6,699
	達成率			105.3%			
	基準年度比	2022年	98%	93%		97%	96%
(ガソリン) 自動車の燃料による二酸化炭素削減	L	8,728	8,553	11,379		8,466	8,379
	kg-CO ₂	20,249	19,844	26,399	×	19,641	19,439
	達成率			75.2%			
	基準年度比	2022年	98%	130%		97%	96%
(軽油) 重機等の燃料による二酸化炭素削減	L	42,170	41,327	74,509		40,905	40,483
	kg-CO ₂	108,799	106,623	192,233	×	105,535	104,447
	達成率			55.5%			
	基準年度比	2022年	98%	177%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	136,206	133,305	225,126	×	131,945	130,584
一般廃棄物の削減	t	0.210	0.206	0.180	○	0.204	0.202
	達成率			114.4%			
	基準年度比	2022年	98%	86%		97%	96%
産業廃棄物の削減	t	361.22	354.00	685.14	×	350.38	346.77
	達成率			51.7%			
	基準年度比	2022年	98%	190%		97%	96%
建設副産物の再資源化率の向上	%	98.0%	98.0%	99.1%	○	98.0%	98.0%
	達成率			101.1%			
水道水(倉庫分)の削減	m ³	3	3	18	×	3	3
	達成率			16.7%			
	基準年度比	2022年	99%	600%		99%	99%

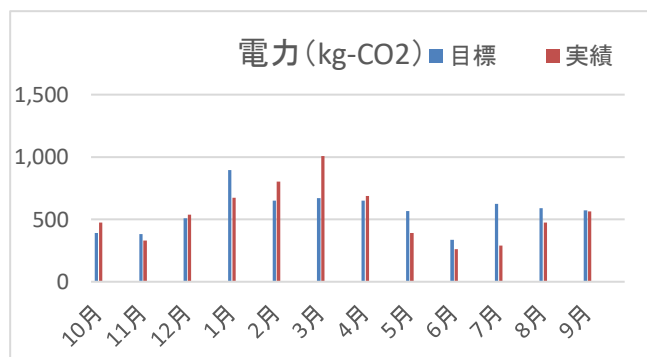
化学物質については使用実績がないため目標設定を行っていない。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた(100%以上)○まあまあできた(99%~80%)△あまりできなかった(79%未満)×全くできなかった

電力(事務所分)による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	空調機の適正な温度管理、不要な照明の消灯等に努め、削減目標を達成できた。次年度もさらなる削減に努めたい。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・事務所等、昼休みなど不必要な時の消灯(随時)	○	
・使用頻度の低い箇所の消灯(随時)	○	



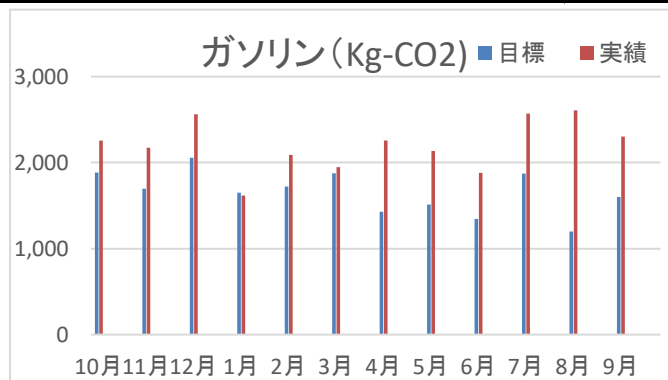
SDGsとの関わり



(単位:Kg-CO2)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
目標	390	381	509	894	651	671	651	567	338	624	591	573
実績	474	330	538	672	804	1,006	687	390	262	290	475	565
合計	目標		6,838		実績		6,494					

自動車の燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	低燃費車の導入、現場への移動の相乗り等、削減に努めたが、車輛の増加、現場の遠方化、機械燃料の使用等により大幅に増加した。次年度以降も車両の更新時には低燃費車を導入し、さらなる削減に努めたい。
・エコドライブの推奨	○	
・アイドリングストップ	○	
・急発進、急加速、空ぶかし	○	



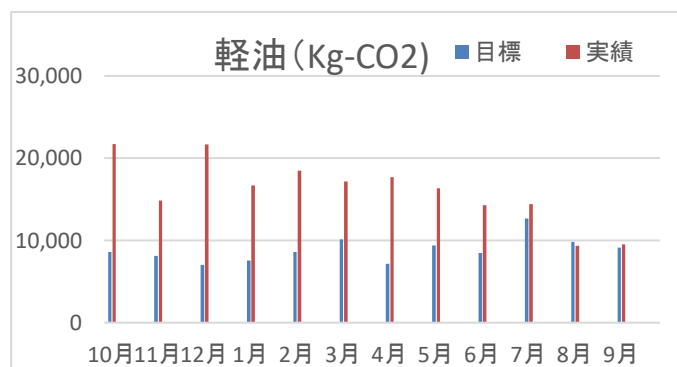
SDGsとの関わり



(単位:Kg-CO2)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
目標	1,883	1,698	2,058	1,648	1,721	1,878	1,430	1,512	1,344	1,871	1,200	1,601
実績	2,255	2,174	2,564	1,617	2,088	1,949	2,255	2,134	1,882	2,571	2,608	2,304
合計	目標		19,844		実績		26,399					

重機等の燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	低燃費機械の導入等、削減に努めたが、工事現場への軽油使用の機械設置により、大幅に増加した。次年度以降も重機の更新時には低燃費機械を導入するなど、さらなる削減に努めたい。
・エコドライブの推奨	○	
アイドリングストップ	○	
急発進、急加速、空ぶかし	○	



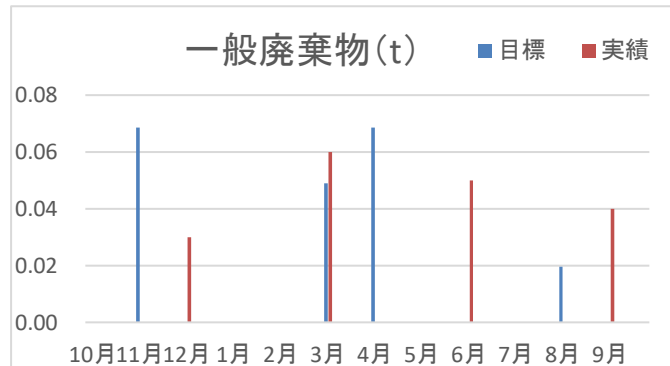
SDGsとの関わり



(単位: Kg-CO₂)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
目標	8,581	8,106	7,034	7,545	8,619	10,126	7,143	9,368	8,473	12,682	9,823	9,122
実績	21,724	14,869	21,675	16,706	18,481	17,152	17,699	16,360	14,301	14,399	9,355	9,515
合計						合計	目標	106,623	実績	192,233		

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	分別を徹底し削減に努め目標を達成できた。次年度以降も、分別の徹底に努め減量化を図りたい。
・分別の徹底(持ち込み時の確認)	○	



SDGsとの関わり

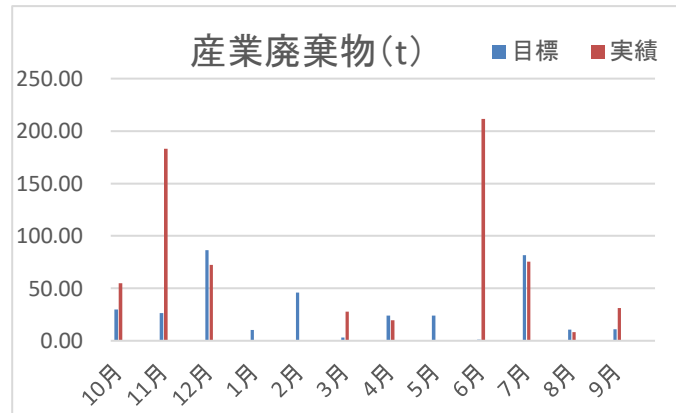


(単位: t)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
目標	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.05	0.07	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00
実績	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.06	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.04
合計						合計	目標	0.21	実績	0.18		

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	分別を徹底し減量化に努めたが、工事箇所特性により目標を達成できなかった。次年度も、さらなる分別・減量化を推進する。
・産業廃棄物の分別	○	

SDGsとの関わり

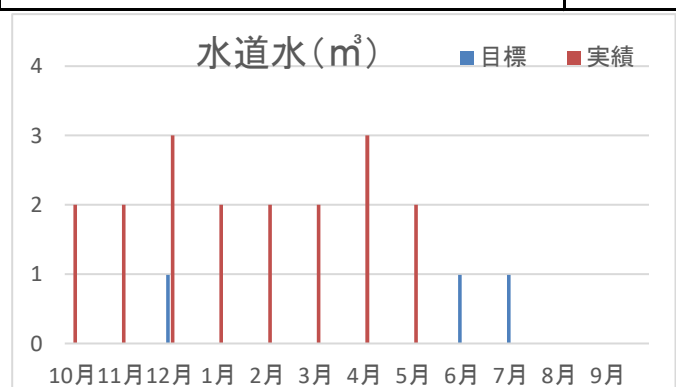


(単位:t)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
目標	29.77	26.56	86.47	10.27	45.80	3.05	24.12	23.92	1.05	81.64	10.51	10.85
実績	54.95	183.26	72.19	0.52	0.79	27.73	19.51	0.00	211.67	75.32	8.09	31.11
合計			目標	354.00	実績	685.14						

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	分別の徹底に努め、目標を達成できた。次年度以降も、さらなる分別・減量化を推進する。
・分別の徹底	○	
		目標 98.0% 実績 99.1%

水道水(倉庫分)の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	現場状況により車両洗車等が増加し、使用量が増加した。次年度以降も、日常的な節水に心がけ、使用量削減を図りたい。
・日常的な節水の励行	○	
・水漏れ点検(随時)	○	



(単位:m3)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
目標	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0
実績	2	2	3	2	2	2	3	2	0	0	0	0
合計			目標	3	実績	18						

省エネルギー・長寿命住宅の提案	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・長期優良住宅の提案を積極的に行う。	○	情報誌等で広報活動を行った。次年度も継続して取り組む。
・太陽光発電設備の設置提案		
・高断熱のサッシ設置・取替えなどの提案		
・その他エコ製品の提案		

(提案件数 2件)

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・騒音・振動・排出ガス・大気汚染・水質汚濁防止など必要な対策を講じる。	○	各現場において必要な環境対策を実施した。 発注者との打ち合わせにより型枠に県産材を利用した。(県内産合板型枠 553m ²) 次年度も継続して取り組む。
・型枠など現場資材で可能なものは、県産材を積極的に利用する。	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。 遵守評価日 2024年10月1日

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・産業廃棄物処理業者との委託契約書の締結 ・産業廃棄物管理票の交付と管理 ・一般廃棄物減量推進及び適正処理 ・マニフェスト伝票交付状況等報告	遵守
建設工事に関する資材の再資源化等に関する法律	・対象建設工事の届出等 ・分別解体の実施と再資源化 ・現場ごとに標識の掲示	遵守
建築基準法	・石綿含有建材の使用禁止 ・クロルビリホス添加建材の使用禁止 ・ホルムアルデヒドに関する規制	遵守
騒音規制法	・特定建設作業実施届出(市町村長に7日前までに)	遵守
振動規制法	・特定建設作業実施届出(市町村長に7日前までに)	遵守
大気汚染防止法	・事故時の措置と届出	該当なし
	・石綿含有建材の事前調査結果の県への報告	該当なし
	・石綿含有建材の事前調査記録の現場への備え置きと、解体工事後、3年間保管	該当なし
緑豊かな地域環境の形成に関する条例	・市町や県との協議、届出等の手続	遵守
浄化槽法	・浄化槽の定期点検 保守点検	遵守
	・空調機の点検記録	遵守
フロン排出抑制法	・建物解体時における業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器の有無を事前に確認し、その結果を書面で発注者に書面で説明。書面の写しは3年間保管	該当なし

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守できていました。
関係当局より違反等の指摘はありませんでした。なお、違反、訴訟等は過去3年間ありません。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年10月31日

世界各地で異常気象による自然災害が頻発する状況をまのあたりにし、SDGs(持続可能な開発目標)の達成は待ったなしと感じています。
本年8月には、ひょうご産業SDGs推進宣言企業へ登録し、社員の意識向上を図っています。今後も、自動車、重機、空調機の更新時には、環境に配慮した機種を選定し、低燃費化も進め、二酸化炭素削減を図るなどSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向け取り組んでまいります。
産業廃棄物について、事業規模に応じて排出量が増減しますが、分別の徹底、さらなる適正処理に取組み、地域、社会に貢献してまいります。

株式会社アース建設
代表取締役 松本 政信

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり 実績を踏まえて見直す
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり